

穏やかな暖かい日々を 迎えにいこう

昨年3月の創刊号から始まった『TENAからのメッセージ～リーエンダ（スウェーデン語で笑顔）』も、今回で第5号となります。当初より、読んでいただけるお客様や関係する皆さまにとって「現場で直ぐに使える情報・経営課題の解決に活かせる情報」となることを念頭に、四半期ごとに必ず定期発行することを決意して開始しましたが、昨年1年間では4四半期全てにおいて発行し、また今年に入ってもこの第5号を発行することができましたのも、日頃よりTENA製品・サービスをご愛顧いただいているお客様、またTENA事業をご支援いただいている沢山の方々のおかげであると厚く御礼申し上げます。未だ新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染終息には至っておらず、医療・介護の現場では大変なご苦労が続いていることとお察しいたします。ユニ・チャーム メンリッケを代表して、現場の皆さまのご奮闘に

対し心よりの敬意と感謝を申し上げます。ワクチン接種も始まったことで、徐々に明るい兆しが見えてくることを期待しています。

さて今回のリーエンダ第5号では、「Ⅰ.TENAのお客様における、コロナ禍の最中での①感染対策と普段の余暇活動の両立事例のご紹介と②感染対策と普段の排せつケアの両立事例」、「Ⅱ.医療・介護業界における助成金・補助金・排せつ支援加算の最新情報のご紹介」「Ⅲ.オンライン形式でのあて方勉強会やTENAマイスター認定など、コロナ禍においてもケアの質を高めるためにTENAとしてお届けできるサービスのご紹介」を中心に記事を作成いたしました。日々様々なコロナ対応に追われる中においても、多



くのお客様が改善活動を止めずに、むしろ意志高く取り組みを強化し・成果をあげておられることから、私たちユニ・チャーム メンリッケ社員もたくさんの方の勇気とやりがい感をいただいています。今回のリーエンダ第5号をお読みいただいたお客様におかれましては、これを機に担当TENAアドバイザーに対して、改めてお取組みのご要望をいただければ幸に存じます。

ユニ・チャーム メンリッケ株式会社
代表取締役社長 森田 徹

笑顔を届ける取組み、を共に

新型コロナウイルス感染症拡大から1年が経過しました。ワクチン接種の広がりや希望の種となって広がっていますが、現場を支える皆さまの想いによって、利用者の安心、尊厳ある毎日を実現している現場も全国各地に数多くあります。今回は北海道の介護老人保健施設「アートライフ恵庭」様、大阪府の介護老人保健施設「大今里ケアホーム」様の2事例を通じて、現場での工夫をお届けさせていただきたいと思っております。

- 2ページ 「Withコロナ時代の介護施設では…」
- 3ページ 「2021年度補助金ピックアップ」「排せつ支援加算のポイント」
- 4ページ 「オンラインでもできるあて方勉強会とTENAマイスター認定」

以上の情報をお届けします。

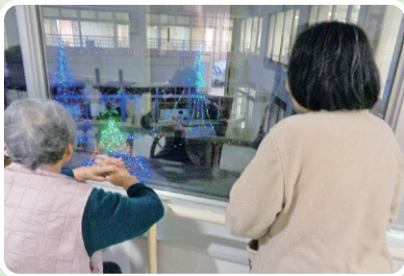
(リーエンダ with TENA編集部)

Withコロナの時代 介護施設では…

2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出を控えて施設や自宅で過ごす時間が多くなりました。安心してお過ごいただくため、ご施設での楽しい時間を作るアクティビティの工夫や感染対策など、ご施設の取り組みをご紹介します。

楽しい時間のつくりかた 老健(北海道)アートライフ恵庭

北海道の介護老人保健施設「アートライフ恵庭」では、「これまでのご利用者の生活習慣を維持したい」との想いから、当初のアクティビティの一時中断を経て、法人の徹底した感染対策を実施しながら継続して開催しています。



● 施設の中でクリスマス気分

外出や家族との面会制限により、ご利用者が閉塞感を感じる中、少しでも日常生活を楽しんでもらえるよう職員発案の「職員さんおえかきですよ!」や「重さあてゲーム」など手探りで頑張っています。また、▽書道▽華道▽料理レクリエーション▽編み物▽アイロンビーズ▽塗り絵——などたくさん開催しています。カラオケも、向かい合わない座席を組んで、フェイスシールドやマスクを使用ごとに消毒するなど感染対策も徹底しています!施設の飾りつけなど行う環境美化整備委員会は、冬の時期にはイルミネーションやアイスカンドルなどを企画し、ご利用者へ楽しい時間を提供してきました。

● 「花と氷のアート」で冬気分



主任ケアワーカーの小原武さんは「花を見て明るい気持ちになると同時に、外出自粛の中でも北海道の冬の寒さを氷を通じて感じてもらうことができご利用者にとっても好評です!」と話す。

● トイレを気にせず楽しい時間を満喫

アートライフ恵庭ではTENAの考えに共感し、お一人おひとりの排せつパターンの把握など質の高いケアに取り組んでいます。「レクリエーション中でも、トイレや排せつを気にせず楽しく参加していただいています」と小原さんはいいます。

中村君代看護部長は「一言でアクティビティといっても、指先を動かす、声を出す、笑う、食べる、感じることなどはリハビリに繋がっており、とても大切なこと。私たちにとってご利用者が笑顔になれる生活を支えていきたい!」と話しました。

中村さん(右)と小原さん(左)▶

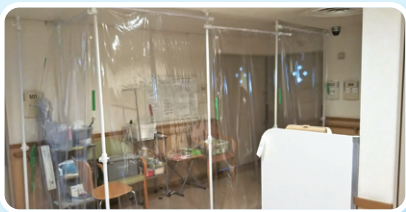


個別ケアで感染対策

老健(大阪府) 大今里ケアホーム

大阪府の介護老人保健施設「大今里ケアホーム」では、昨年4月と11月に職員3人、併設するデイサービスご利用者1人の新型コロナ陽性者が発生しましたが、早期対応や個別ケアにより施設内での感染拡大を防ぎました。

● 新型コロナ陽性者発生後、ゾーニングや使い捨てケア実施



職員が新型コロナ陽性となった後、大今里ケアホームでは▽ゾーニング▽レンタル衣類の提供開始▽マスク、手袋、エプロン、おむつなど衛生用品の備蓄▽感染対策ゾーン用の使い捨て用品の導入——などの感染対策を強化しています。

● 全身・おしり用のウェットタオル TENAウェットワイプが大活躍!

感染対応ゾーンで隔離対応になっているご利用者に対しても、ケアの質を落とさずにサービスを提供し続けていきたいと考えており、施設とメーカーで検討し導入したのが、「TENAウェットワイプ」。保清だけでなく保湿・保護まで可能であり、肌触りも良く、常に清潔で快適な時間を提供する事が出来ました。

(西林周平事務長)



▲感染対策ゾーンの入口には、対策グッズとTENAウェットワイプを常備しています

● 個別排せつケアが感染対策に繋がる

また、大今里ケアホームはコロナ禍前の2019年7月より「TENAを活用した個々に合わせた排せつケア」に取り組んでいます。北吉貴雅介護長は「TENAアドバイザーと共に個別ケアに取り組むをはじめたことで、短時間で多数のご利用者への接触を回避することができ、結果として感染対策にも繋がりました」と振り返ります。一つひとつの取り組みが必要なタイミングでのトイレ誘導、おむつ交換の実現に繋がっています。

「個別ケアの取り組みはまだまだ改善する余地があります。感染対策の視点も含めて今後も継続して取り組みます!また、今後スタッフ全員が同じような視点でアセスメントができるように、施設でのTENAマイスターの育成も行い、個別ケアにむけての技術や考え方を高めていきます!」と北吉さんは今後の展望を語りました。



▲アクリル板を設置した食堂、飾りつけて明るい雰囲気作りも行う

2021年度 助成金・補助金ピックアップ

2021年度に厚生労働省が実施予定の助成金や補助事業が見えてきました。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、引き続き感染対応に関する事業を充実させています。医療では、地域医療介護総合確保基金(医療分)で働き方改革を推進するための支援や、介護でも同基金を中心に、業務支援システム等のICT導入を支援する事業などがあります。ピックアップしてご紹介します。

PICK UP 働きやすい環境づくりを支援

医療 地域医療介護総合確保基金(医療分)

医療従事者の働き方、休み方の改善
多職種の役割分担・連携、チーム医療の推進や、医師事務作業補助者や看護補助者の配置、勤務シフトの工夫、休暇取得の推進などの取組みを支援します。

働きやすさ確保のための環境整備

院内保育所・休憩スペース等の整備、短時間正社員制度の導入などの取組みを支援します。

介護 人材確保等支援助成金

離職率の低下に取組む介護施設へ、目標を達成できた場合に介護

福祉機器の導入費用20%(生産性要件を満たした場合35%)を助成します(上限150万円)。対象となる介護福祉機器は▽移動・昇降用リフト(立位補助機、非装着型移乗介助機器を含む)▽装着型移乗介助機器▽体位変換支援機器▽特殊浴槽——等が想定されます。

介護 ICT・ロボット等の導入

感染拡大の防止・生産性の向上・介護等業務の負担軽減に向けた取組みを促進し、安全・安心なサービスを提供できるよう、介護・福祉サービス事業所等におけるICT・ロボット等の導入を支援します。

PICK UP 新型コロナウイルス感染症関連

医療 新型コロナからの回復患者の転院支援

新型コロナから回復した後、引き続き入院管理が必要な患者を受け入れる医療機関で、必要な感染予防を講じる場合、一定の加算の特例算定を認めています。

医療 遠隔医療設備整備事業

住み慣れた地域での適切な医療提供や、新型コロナウイルス感染症への対応も踏まえ、医療提供体制の整備が推進されています。都道府県を通じて、かかりつけ医によるオンライン診療を含め、遠隔医療(遠隔病理診断・遠隔画像による診断及び助言・在宅患者に対する遠隔診療)の実施に必要なコンピューター機器・通信機器等の整備費を補助します。

医療 新型コロナウイルスの影響に係る看護職員の卒後フォローアップ研修事業

経験が不足している看護師の臨床現場での学びを補うとともに、早期離職を防止するため、就職先の新人看護職員研修では補えない領域や分野等の臨床現場での体験学習を主とする研修を実施するための必要経費を支援します。

介護 地域医療介護総合確保基金(介護分)

感染者や濃厚接触者が発生した介護事業所で、職員確保や、マスク・消毒液の購入等のかかりまし経費等を支援します。

介護 個室化等の環境整備

介護・福祉施設における簡易陰圧装置・換気設備の設置や多床室の個室化等に必要な費用を補助します。

解説 2021年度介護報酬改定「排せつ支援加算」にアウトカム評価導入

これまで

排せつ支援加算100単位/月



改定後

排せつ支援加算(Ⅰ) 10単位/月(新設)
排せつ支援加算(Ⅱ) 15単位/月(新設)
排せつ支援加算(Ⅲ) 20単位/月(新設)

※排せつ支援加算(Ⅰ)～(Ⅲ)は併算不可。現行の加算を算定する事業所への経過措置を設定

4月から行われる2021年度介護報酬改定で、「排せつ支援加算」にこれまでのプロセス評価の他、排せつの状態改善等のアウトカムを評価する新区分(排せつ支援加算ⅡとⅢ)が設立されました。算定期間についても6カ月までの算定期間の上限が撤廃されました。

アウトカム評価では「排尿・排便の改善や悪化がないこと」や「おむつ使用の有無」などを評価視点としています。

加算算定には、排せつ支援加算(Ⅱ)では「排尿・排便のどちらか一方の改善および、いずれも悪化していない」か「おむつの使用ありからなしへ改善」のいずれかが求められ、(Ⅲ)ではこの両方が求められます。同加算の算定対象は▽特別養護老人ホーム(地域密着型含む)▽介護老人保健施設▽介護療養施設▽介護医療院——に加え「看護小規模多機能型居宅介護」も追加されました。

また、全入居者に排せつ状態のスクリーニング実施を要件にした排せつ支援加算(Ⅰ)は、施設単位で算定できる体制加算へと変更されました。

た。代わって、今回から同加算を算定するには、国のデータベース「LIFE(ライフ)」へのデータ提出が義務化されました。この報告内容に基づいて翌年には報告施設に対して、LIFEのWebサイト上にPDFファイルでフィードバックが行われ、改善の余地のある対象者や、改善に有効と考えられるケア・支援の方法等が報告されます。

厚生労働省が示したLIFEに提出する様式案によると、これまでの排せつ支援計画書への記載が求められていた排尿・排便のほか「おむつの使用の有無」と「ポータブルトイレ使用の有無」の記載も求められます。(2月19日通知時点)

LIFEの利用には、公式webサイト(<https://life.mhlw.go.jp/>)から利用申請を行う必要があります。申請後は、利用時に使用するIDとパスワードが記載された葉書が届きます。

また、これまでCHASEを利用している場合は、IDとパスワードはLIFEでも利用できます。

【シミュレーション】100床の介護施設で算定した場合

※1単位10円で計算

(旧加算)

利用者100人のうち、排せつ自立が見込める利用者5人にケア実施
5人×100単位×10円=5,000円/月
5,000円×6カ月=3万円(最大条件を想定)

※プロセス評価のため、改善の有無は問わない(結果による加点評価なし)

※「最大算定期間である6カ月」を「全員が算定」した場合を想定(期間中に自立達成や対象者から外れると算定中止もありうる)

※排せつの自立が見込める利用者が現れると、その都度、算定開始もありうる(今回は考慮せず試算)

(新加算)

100人にスクリーニング調査をした結果、5人に改善が見られた場合

①スクリーニング実施により(Ⅰ)の算定95人

95人×(Ⅰ)10単位×10円=9,500円/月

②5人に改善(排せつの状態改善またはおむつ未使用)が見られたため(Ⅱ)算定

5人×(Ⅱ)15単位×10円=750円/月

①+②=1万2500円/月

1万2500円/月×6カ月=6万1,500円

※この状態が維持される場合「6カ月以降」も同様(1万2500円/月)の算定が継続



今後発表される排せつ支援加算の留意事項などの最新情報を随時更新予定。

オンラインでも
できる？

あて方勉強会とTENAマイスター認定

ユニ・チャーム メンリッケは、オンライン上での取組みにも挑戦しています。その一つがオンラインでのあて方勉強会とTENAマイスター認定。今回はオンラインでどのように実施させていただいているのか「例」をご紹介します。

オンラインでのあて方勉強会ってどうやるの？

Q オンライン勉強会を行うには何が必要？

A インターネットに接続できるカメラ付き端末（PC、タブレット、スマートフォン）の他、実演していただくためのベッドをご用意ください。



Q 施設で事前準備することは？

A 事前にあて方ムービーやあて方クイックガイドを見て頂いているご施設も多いです。ご自身で練習されてもOK！疑問点や確認したいことを整理される方もいらっしゃいます。カメラの角度などは当日ご相談させて下さい。

Q 参加人数は決まっていますか？

A あて方を学ぶアイテムや、参加人数、開催時間は調整可能です。オンラインだからこそ、空き時間の活用幅が広がります！

オンラインでのTENAマイスター認定ってどうやるの？

Q TENAアドバイザーによる「TENAマイスター認定」ってオンラインでできるの？

A ベッド、インターネットに接続できるカメラ付き端末（PC、タブレット、スマートフォン）のカメラで、手元を映すことができれば実施できます。



Q 人数と時間は決まっていますか？

A あて方・あてられる方の2人1組で実施します。
1アイテム1回あたり約3分×受験回数×人数が目安となります。

Q 他のご施設は事前準備って何しているの？

A まずは目的の共有から行います。その後、あて方ムービーやあて方クイックガイドで確認されているお客様が多いです。リクエストがございましたら、あて方勉強会についてご相談させていただきます。

Q カメラで手元を映すとは？

A 認定の「確認ポイント」を中心にカメラで映しながら、確認していきます。認定取得者もしくはリーダーの方々にご担っていただくことをお勧めします。実施前には、カメラワークの調整を行う場合があります。



お客様からの反応

カメラ越しでも
疑問点を解消
できた!!

オンライン上での
あて方勉強会を
行いTENAを使用
し始めているが、
大きなモシもなく
対応できている

少人数だから
質問しやすい!

最初は不安が
あったが、実際
に行ってみると
細かく確認もで
き満足!

TENAマイスター認定とは

TENA製品の特性を活かし手順に沿ってあてることができる方を認定する制度です。TENAマイスター認定者が増えることで、新しいスタッフやご家族に説明する際も、パッド交換手順の一つひとつに込められた意味や思いを伝授することが可能となります。

製品リニューアル情報!!

TENA スリップ M/Lサイズ(プラス・スーパー・マキシ)リニューアル



1枚でより快適に
さらさら感がUP

FeelDry™
ADVANCED

SKIN HEALTH ALLIANCE
ENDORSED

DRY 3X
PROTECTION
SECURE

TENA ProSkinシリーズへと生まれ変わります

フィールドライ™アドバンスド機能となり、パッドに素早く吸収ししっかりと閉じ込めることで逆戻りがさらに少なくなり、より肌をさらさらに保ちます

「ご利用者の肌さらさらに保たれている」
「製品の表面がやわらかい」等多くのご意見を頂きました

高品質
安心
お肌をさらさら

皆さまとともに、「リーエング with TENA」をよりよいものへ

この度、「リーエング with TENA」をご覧いただき、誠にありがとうございます。皆さまからのご意見・ご感想を大切に充実した「リーエング with TENA」をお届けしていきたいと考えております。是非、忌憚なきご意見をお寄せください。

本アンケートはご回答いただいた方の個人情報（個人名・メールアドレス等）を記載して頂く項目はございません。また、個人の携帯端末からのアクセスであっても個人を特定する情報は収集いたしません。何卒よろしくお願いたします。

